

## 第19回 議会改革調査特別委員会 会議録

---

日 時 令和7年12月12日（金曜日） 午後1時 ～ 午後2時39分  
場 所 白杵庁舎議会棟 議会応接室

---

### 出席委員の氏名

委員長 伊藤 淳                      副委員長 梅田 徳男  
委 員 川辺 隆                      委 員 芝田 英範                      委 員 安東 鉄男  
委 員 甲斐 尊                      委 員 平川 幸司

---

### 欠席委員の氏名

（ な し ）

---

### オブザーバー

議 長 内藤 康弘

---

### 説明のため出席した者の職氏名

（ な し ）

---

### 出席した事務局職員の職氏名

局長 林 昌英    次長 小嶋佳希    書記 原 伸行    副主幹 工藤真里子

---

### 傍聴者

（ な し ）

---

### 協議事項

1. 議場コンサートについて（振り返り）
  2. 議場体験会について
  3. 議員間討議会について
  4. その他
- 

午後1時 開議

## 協議事項

### 1. 議場コンサートについて（振り返り）

#### ◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

#### ○委員（意見）

- ・中学生の合唱が非常に良かった。割り当てられた受付系の業務は、職員の方のお手伝いもあり、混乱なく無事に終えることができた。
- ・中学生の本番、リハーサルのすべてを一生懸命に取り組む姿はとても良かった。アンケート結果で身近に感じられたという意見が多かったので盛会だったと思った。
- ・今回の議場コンサートは、開会日に実施し十分な反響があったと感じている。来場者は、30名程度だったが、議員席と傍聴席の合計席数の状況から、ちょうどよかったと感じた。
- ・これまで2度開催したが、感想や反響から見ると、定期的に行って良いと感じた。来場者はもちろん、演者にとってもよい経験になり、議会として異議のある催しだと感じた。
- ・議員を身近に感じてもらうことが、実施の目的の一つであれば、議員と中学生が意見交換など、交流の時間を取れるとよいと思う。
- ・議会、議員にとっても良い刺激となり、やる気を喚起される一つの材料となった。その意味でも定期的に実施するよう検討してよいと思った。
- ・来場者の感想にもあったが、傍聴席の階段は上がるのがきついのを実感した。長期的な懸念事項であると思う。

#### ○オブザーバー（議長 内藤 康弘）

- ・議場コンサート終了後に、合唱部の皆さんにお礼を伝えたときに、すごく喜んでくれた。今後も、実施するとよいと思うが、継続的に実施するのであれば、場所を提供する方法とするか、こちらから出演を依頼して行う方法とするのかは、検討が必要。また、継続的に実施する場合は、必要な経費の予算化が必要となるが、実施方法により経費が異なるものとなると感じている。

#### ○委員長（伊藤 淳）

準備などの裏方の部分を担う事務局にも、意見を伺いたい。

#### ◎事務局（意見）

- ・議場を見てもらう、中に入ってもらうことはすごく大事なことだと感じた。ただ、今回は、定例会の開会前におこなったため、スケジュール的に大変な部分は感じた。
- ・今後の実施に向けては、議員と中学生の接点を持ち、議員の人となりがわかるようなものになればと感じた。
- ・天井が高い議場の特性で歌声が響いていて、会場として生かすことができたと感じた。文化的な要素のある演劇や発表などを行っても良いと感じた。
- ・予定通りに実施でき、10時に定例会が開会でき安堵している。来場者が、議場で議員席に座ることができ、とても良かった。継続していく場合は、時間的な制約がある中で、議

員や事務局がどの範囲を担うかなど、今後も検討が必要だと感じた。

○委員長（伊藤 淳）

委員、事務局の意見として、総合的には良かったという評価だった。今後、継続して実施するには、実施内容を整理し、明文化が必要と考えている。明文化に当たって、実施回数や時期、演者の選定等の方向性について意見を伺いたい。

○委員（意見）

- ・今回の12月の実施は、演者である西中学校合唱部と調整した結果であるため、それに沿う必要はないと思う。
- ・年に一回は継続できればと思う。実施時期については、3月定例会は当初予算の審議などがあるし、4月に新年度が開始すると考えた時に、演者の選定などの準備や実施の告知等を考えると12月定例会が良いと思う。個人的には、新年を迎える前に、クリスマスソングを聞きたい。
- ・実施した記事が大分合同新聞に掲載され、開かれた議会の良いアピールができた。交通費やリース料、謝礼など必要な経費については、実施のたびに協議するのではなく、公費で予算化しておくべきだと思う。
- ・主権者教育という点と投票率が低い若年層（本人及び保護者）に議場に来てもらうこともあり、教育委員会を通じて、中学生を対象として継続するのがよいと思う。
- ・演者の選定は、当面の間は議会で選定したほうが良いと思う。希望すれば、何でも受け入れるというより、議員が目的、ねらいを持ち演者をお願いする方が良いと思う。今後、何度か実施した上で、公募にすればよいと思う。公募の場合は、選定理由を明確にする必要がある。
- ・演者を中学生等にするのであれば、主権者教育の観点から大会での成績優秀者などに限定する必要はないと思う。また、中学生に限らず、小学生や幼稚園・保育園などに広げてよいと思う。
- ・公募の形で実施しても、すぐには応募がないと思う。主権者教育という目的を踏まえると、議会で選定し依頼する形で実施するのもよいと思う。また、学校に依頼する場合、12月は学校の行事的に落ち着いていてよいのではないかと思う。
- ・今回、開会日に議場コンサートを実施し、その余韻もある中で、翌週に一般質問と続く形になったのは、実施のタイミングとしてはよかった。

**【協議結果】**

- ・議場コンサートを引き続き実施する。
- ・今後の実施方法や予算等の在り方については、継続して協議する。
- ・実施時期は、12月定例会を予定しながら、演者と調整する形とする。
- ・公募形式ではなく、当面の間は議会で演者を選定し、出演を依頼する形式とする。

## 2. 議会体験会について

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ）

○委員（意見）

【『議員に聞いてみよう』について】

- ・市と議会の役割の違いなど分からないことから、市政に対する質問が多い。執行部に内容を確認せずに回答は難しい部分がある。
- ・質問に対する回答を議会として行うので、中途半端なことはできない。事前に振り分けて、準備が必要。ただ、議員個人の見解として回答するわけにはいかないなので、回答する上で、執行部に内容確認をしたい。

⇒（意見）○別の委員

- ・議員として、このように考えているということを伝えた上で説明すればよいと思う。

⇒（回答）◎事務局

- ・12月15日（月）の全員協議会で議会体験会について説明を予定としているので、その後に、担当業務ごとに詳細を説明し、その後、打合せの時間を取りたい。当日の回答者や回答内容などについて、打合せしてほしい。
- ・回答を作成する参考のため、生徒たちが学校での学習内容を事前に把握できないか。

⇒（回答）◎事務局

- ・教科書等の資料を教育委員会などに求めることもできるが、議会体験会の『議会議会を学ぼう』の中で、議会の概要などを説明するため、その内容を生徒が学習しているものとして、回答を考えてほしい。
- ・質問の内容は、かなり詳しいものがあり、概要を答えることができても、再質問でより深められると回答が困難となる可能性もあるのではと感じている。

⇒（回答）◎事務局

- ・『議員に聞いてみよう』は、約15分間を予定しており、各班質問が2～4問となっているため、再質問は時間的に困難で、質問への回答もできるだけ要約して簡潔に行って頂くよう想定している。
- ・当日の議員の回答内容は、どのように取り扱うのか。また、記録として残すのか。記録を残す場合は、公開等の取り扱いをどのように想定しているのか。

⇒（意見）○別の委員

- ・音声を残す必要はないと思う。生徒が、聞いた内容を家族などに伝える可能性があり、その点を注意して発言してもらえればよいのではないかと考えている。

### 【『議会を体験しよう』について】

- ・議場内で対応する議員の役割と立ち位置を確認したい。

⇒（回答）◎事務局

- ・議員席には、生徒が座る想定としており4名の議員は、指定した席の準備予定がないため、15日（月）の全員協議会後に議場で当日の動きを確認することとしたい。

### 【全体】

- ・参加した生徒に対し、思い出の品などを渡すことはできないか。経費をかけてまで行う必要はないが、このような機会を記念するものがあればと思う。

⇒（回答）◎事務局

- ・学校の授業の一環として、議会を体験するものと捉えており準備はしていない。また、無料で配布できるものもない。本委員会の中で、準備するよう決定すれば対応したい。

⇒（意見）○別の委員

- ・無料で配布できるものがないのであれば、準備は不要でよいと思う。

### 【協議結果】

- ・議会体験会の内容及び議員の役割などについては、提案のとおり決定。
- ・全員協議会（12月15日（月）開催予定）で概要を説明し、その後、役割ごとに分かれ、詳細な説明と当日の動き、打合せなどの確認を行う。
- ・生徒に配布する記念品などは準備しない。

## 3. 議員間討議会について

◎事務局（原 伸行）

（ 配付資料に基づき説明 ） ……（質疑なし）

【協議結果】 提案のとおり実施するよう決定

## 4. その他

- ・次回、開催日について

○委員長（伊藤 淳）

次回開催日は、12月18日（木）の議会体験会（2日目）終了後に、議会体験会の振り返りを行いたい。

午後2時39分 閉会

---

白杵市議会委員会条例第30条第1項の規定を準用し、ここに記録を作成する。

令和7年12月12日

議会改革調査特別委員会

委員長 伊藤 淳